

## 案件化調査

# モンゴル国 分娩監視装置導入による周産期医療の質向上に係る案件化調査

### 企業・サイト概要

- 提案企業：トーイツ株式会社
- 提案企業所在地：東京都渋谷区恵比寿1丁目5番10号
- サイト・C/P機関：ウブルハンガイ県RDTC、同県保健局、モンゴル保健省

分娩監視装置の外観



### モンゴル国の開発課題

モンゴルの死産・新生児死亡率は分娩管理の不備に伴い依然として高く、分娩管理を確立して、帝王切開数を減少させ、新生児蘇生処置率および新生児死亡率を低下させることが課題である。

### 中小企業の技術・製品

分娩監視装置：胎児心拍数と胎児胎動を捉え、陣痛信号を検出する。  
 集中監視装置：複数の分娩監視装置をナースセンターからモニターする。  
 教育プログラム：分娩監視装置の使用法と計測データの読み取り、正しく胎児・母体の状態を把握するための研修教育プログラム。

## 調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

ODA事業：普及・実証事業

期待される効果：(1) 妊娠中・分娩中の分娩監視装置の利用技術が向上し、新生児死亡率が減少する。

(2) 医科大学などで分娩監視装置の使用法に係る教育カリキュラムが整備される。

(3) 医療従事者および保健省の分娩管理に関する能力が向上し、モンゴルの周産期医療水準が飛躍的に向上する。

### 日本の中小企業のビジネス展開

ウランバートルの現地代理店が分娩監視装置を販売、メンテナンスサービスを行う体制を確立し、販売先として3次保健医療施設を想定しているが、可能ならば2次、1次保健医療施設まで拡販する。また、技術アドバイスや品質検査を行うための拠点として現地代理店を準備する。